

碩心

可認岳風吟學院詩日 會發會風岳吟學院詩日 法人神奈川碩心

7年1月	7年1月	270号
返葉大	根編中	行集岳
(合)	村	者萃愛
7年1月	7年1月	270号
返葉大	根編中	行集岳
(合)	村	者萃愛
7年1月	7年1月	270号
返葉大	根編中	行集岳
(合)	村	者萃愛

会員の増員に期待

会長 根岸 岳 萃

あけましておめでとうございます。碩心会の皆さんが、ご家族共々、ご健勝にて、よき新春を迎えられましたこと、衷心よりお慶び申し上げます。

当会では、昨年より新しい方式で、準師範の方々を多数選出し、まだその成果は出ませんが、今年こそ新しい会員さんが入会されるものと確信しております。

ともかく、指導者は吟力があって、たかぶらず、新人に優しく接する人；当会もそのような方々に準師範を取っていただきました。

松井岳洋先生も、祖宗範から、弟子を指導することは、自分の吟道の勉強に大変有効ですといわれ、当会を創ったといわれておりますが、今年も仲よく楽しく、吟道の勉強ができますよう、皆さんのご活躍を期待しております。

今年も皆さんが、健康で吟道にご精進下さいますことを、特にお願い致しまして、新年のご挨拶といたします。

今年も行事にご協力を

副会長 加藤 岳 相

明けましてお目出度うございます。会員の皆様、ご家族の皆様方と共に、希望に満ちた新年をお迎えになりましたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、県本部四十周年吟道大会がよこすか芸術劇場で行なわれましたが、初めての会場であり、県本部幹部も危惧しましたが、担当役員の苦勞と、努力と、会員の皆様のご協力により、立派に終了致しました。来賓の先生方からも、お褒めの言葉を頂戴致しました。

今年も、昨年と同じように、色々行事が予定されています。皆さんの協力なくしては出来ませんのでよろしくお願い致します。

会員の皆様には、吟道で培った真摯な精神を以て、会員相互の和をモットーに、健康に留意し、益々吟道に精進され、日本古来の文化の向上と、地域社会の貢献、そして碩心会の発展のために、ご活躍をお願いして、新年のご挨拶と致します。

年頭にあたり決意表明!!

副会長 千葉 岳 関

新年あけましておめでとございます。今年もどうぞよろしくお願い申しあげます。

さて私は、本年二つの指標を己に課しました。そして二つとも、初心に戻って、誠実に実行して参る所存です。

その一つは、吟道精神を徹底して実践し、また、その高揚を図って参りたい。即ち、従来にも増して、心の錬成に努力して参りたいのであります。心のない吟は詩吟ではあつても吟道ではない。そう思うわけであります。

二つ目、それは吟道芸術への希求推進であります。吟界の大先輩、佐佐木岳甫先生は、かつて、次のように申されました。「詩吟を近代に息吹かせ」吟道」と称し、詩吟を「道」として、より高度な水準を目指し、これを提唱普及したのは誰あろう、今は亡き木村岳風宗範に外ならない。また崇高な吟道の精神を更に純粹高度な、応用芸術の道へと希求し、夙に「吟道芸術を提唱、標榜、芸術圏への仲間入りを、一生の願いとして、不断の運動を続けているものは私、佐佐木岳甫である」と。

この運動は、近年目にみえて実現化されているのではなからうか。あえて私も目途したいのであります。

21世紀に向けて一層の精進を

相談役 三井 岳 隴

明けましてお目出度うございます。過ぐる一年は日本を含め、世界は、地球は、人類は、多事多難混沌たる年でありました。

21世紀は世界、地球、人類が一大転換、変貌する世紀と言われています。その節目となる、ここ数年はその幕明けとなる大事な年であります。心を洗い浄め、真の人間性を高める修養が必要と叫ばれています。

幸いに私共は、その正しい頼り所として、吟の道に精進しています。一層の精進を念願するものであります。

昨年一月九日病魔に倒れ、ちようど満一年になります。皆様に支えられ、励まされて、何とか立ち直ることができました。目下三教場、二十七名のお弟子さんの励まし、精進ぶりが、心の支えとなり、細々ながら吟の道を歩み続けています。有難いことです。共々頑張りましょう。

賀正

本年もよろしく



(指導者一同より)

根岸岳萃(会長) 加藤岳相(副会長)
千葉岳関(副会長) 三井岳隴(相談役)

(以下名簿順)

- | | | | |
|------|-------|------|-------|
| 沼田岳雷 | 小峰岳海 | 井沢岳潮 | 加藤岳洵 |
| 中村岳郵 | 竹石岳泓 | 中村岳愛 | 森田岳鈴 |
| 岩崎岳恵 | 鈴木孝岳 | 守谷崇岳 | 山口夕岳 |
| 松野宝岳 | 杉山雪岳 | 秋元梁岳 | 鈴木萃岳 |
| 佐藤湧岳 | 矢嶋悦岳 | 黒崎李岳 | 綾部秋岳 |
| 村田瀨岳 | 渡辺秀岳 | 石渡桂岳 | 笠原珠岳 |
| 沼田義岳 | 清水耀岳 | 白井麗岳 | 西村昌岳 |
| 細川晃岳 | 上村象岳 | 渡辺誠岳 | 加藤朋岳 |
| 一柳道岳 | 佐久間爽岳 | 木村松岳 | 磯村朋岳 |
| 寺脇宇岳 | 立沢御岳 | 光岡洗岳 | 宇都宮徳岳 |
| 福本辰岳 | 松井正岳 | 三壁照岳 | 水上昌風 |
| 菊地裕風 | 森 晴風 | 星野輝風 | 一柳良風 |
| 高井定風 | 小菅幸風 | 加藤芳風 | 広瀬晴風 |
| 村井知風 | 川口喜風 | 南湖収風 | 西川幸風 |
| 川瀬弘風 | | | |

平成七年度 主な行事予定

(総本部関係)

- 4・9(日)第105回全国吟道大会…大阪府高槻市
- 7・1(土)岳風忌…諏訪地蔵寺
- 7・29(土)第41回…九段会館ホール
- 7・30(日)夏期吟道講座…日本教育会館
- 11・5(日)第106回全国吟道大会… 船研ホール
- (県本部関係)
- 1・28(土)初理事会(初吟会)…平塚農業会館
- 2・5(日)準師範講習会…平塚農業会館
- 2・12(日)高段者審査会(皆伝)平塚農業会館
- 2・19(日)〃(九段以上)平塚農業会館
- 3・4(土)総伝会
- 5・7(日)総会…横須賀労働福祉会館
- 5・28(日)第15回横一地区吟道大会
- 6・4(日)第4回神奈川地区青少年吟道大会
- 6・11(日)第13回鎌倉吟道大会… 鎌倉船越館
- 7・2(日)第13回京浜地区吟道大会
- 7・23(日)準師範講習会…平塚農業会館
- 8・6(日)指導者吟道講座
- 9・3(日)第3回神奈川地区大会… 海老名
- 9・17(日)第20回湘南地区吟道大会… 大和

- 11・19(日)高段者吟法講座…平塚農業会館
- 11・25(土)納会(納吟会)…平塚農業会館

(県本部協賛事業)

- 4・8(土)第105回全国大会参加吟行会
- 4・11(火)
- 8・19(土)中国吟行会
- 8・26(土)
- 11・4(土)第106回全国大会参加吟行会
- 11・7(火)

(碩心会関係)

- 1・8(日)初吟会…逗子会館
- 3・12(日)春季審査会…逗子図書館ホール

高段者審査について

皆 伝 … 2月12日(日)9時より受付
 九段以上 … 2月19日(日) 〃
 会 場 … 平塚農業会館

◎高段者審査申込書

当日持参し、吟道手帳、審査料(二千元)と共に受付に提出する。

鉛筆で一部下書してありますが、確認の上ボールペンで書いて下さい。
 雅号、氏名にはフリガナをつけ、年令、

住所を記入すること。

◎吟歴書

1月15日までに許証部長に提出する。一部記入済部分確認して下さい。
 生年月日以下の入門、各伝段位取得年月日は、許証により正確に記入のこと。
 不明の点は許証部長に御問合せ下さい。

☎〇四六八一七五―一五五〇

中 村 岳 郵

指導者講習会の変更について

碩心会指導者講習会の「会場」と「曜日」が左記の通り変更になりました。

会 場・逗子体育館二階

曜 日・毎月最終火曜日夜七時より

逗子詩吟連盟よりのお知らせ

◎理事変更

前理事根岸岳幸先生が都合上退任、千葉岳関先生が交替理事となりました。

◎寒中錬成会

1月15日(祝)逗子海岸に於て右会が行なわれます。ふるって御参加下さるようお待ちしております。

「調和」

吟 秀 佐野 ミサ子

去る12月17日(土)葉山町福祉文化会館に於て、葉山地区吟道温習会が開催されました。合吟あり、吟舞ありと、幅広い内容に、会員の皆様の日頃の訓練の成果を拜見させていただきました、感激しております。

お稽古を始めて一年：まだ詩文の意味すらも十分に理解できていない私ですが、参加させていただくことができました。「練習の時の様に吟じたらいいですよ」の先生の励ましの声もどこへやら、唯々詩文を忘れないように吟ずることで精一杯でした。

さて去る五月号で、葉山清寿苑のデイサービス部の詩吟クラブを紹介させていただきましたが、現在では、ホームの入所者も少しずつ仲間入りをする様になって、和やかな雰囲気の中、吟が流れてきます。

日頃のご指導に、大切な時間を費やして下さる先生方に、心より感謝申し上げますと共に、傾心会の皆さんの調和のとれた吟が、今後とも益々継続されますよう願っております。

初日を拜す

滝の坂支部 佐久間 爽 岳

黎明の空は元日の快晴を予知するように、澄みきつていました。わが滝の坂支部は恒例の初日の出を拜むために、葉山国際ゴルフ場へ出発です。今年は五人集合。ゴルフ場には、すでに相当数の方が登っていました。

紫色の雲がたなびき、東の空はバラ色から茜に変わり、房総の上に雲の端が金色に輝やく時、六時五十分。黄金色の初日が登りました。神々しさの中で一同はそれぞれに祈ります。

私達は「神州」「祝賀の詞」「富士山」を吟じました。寒風の中で吟じ終った時、拍手が高らかに起り、また別の青年グループから「ありがとうございます。また来年もお願います。」と言われ、嬉しいことでした。そのあと魔法瓶に入れて持参した、熱い甘酒を飲むことも例年の通りです。

滝の坂支部は始まって以来、初日の出を拜み、三題の詩を吟じること続けてもう二十年になります。今年は殊に富士山が美しく、平成七年の佳い幕開けと感じました。

今年は亥年

今年は十二支の最後である亥年…。新年と干支とは、日本人にとって切り離せない関係があるのか、書店などには、各種の暦や、カレンダーが所狭しと並べられたり、縁起物として置き物などもあり、これが昔から少しも変らぬ日本の風景。中国で発生した陰暦五行思想と、十干十二支：古いようでも、現実の暮らしに根深く生きている暦をじっくり学んでみるのも、又楽しいことかも。

進歩を求めて、月報「傾心」も、皆様に一層親しまれるような充実した企画をと考えています。本年も寄稿の協力をお願いします。

「短歌」 中村 岳 愛

初春の波がしら立つ岬には

裕次郎灯台輝きて見ゆ

「俳句」 山口 夕 岳

甘酒にとろり舌焼く初詣で

「俳句」 佐久間 爽 岳

玲瓏と初富士泛かぶ相模灘

(退会)

59 山岸洋岳(吟甫) 650 中川美泉(真澄)